

令和7年度 赤穂市立坂越小学校評価報告書

こころ豊かに 夢や目標をもって たくましく生き抜く児童の育成

1. 学校教育目標

2. 本年度の学校経営の重点目標

- (1) 基礎基本の定着、対話を通じて学び合う授業による「確かな学力」を育成する。
- (2) 人権を大切にす学校づくりを推進する。
- (3) 心の教育を全教職員並びに関係機関と連携しながら進める。
- (4) 児童・保護者の思いに寄り添い、特別支援教育、児童支援を充実させる。
- (5) キャリア教育を充実させ、目標に向かって生きる意欲や態度を育てる。
- (6) 家庭と連携して基本的習慣の形成を行い、褒めて育てる教育を推進する。
- (7) 健康・体力の増進を図り、防災・安全教育の充実と体制の整備を行う。
- (8) 児童・保護者・地域と共に築く、開かれた学校づくりを行う。
- (9) 全教職員の共通理解のもと、ウェルビーイングで組織的な教育活動を進める。
- (10) 学校業務の工夫・具体的な改善を図り、子どもと向き合う時間を確保する。

3. 自己評価結果

(A～D) (A:達成した80%以上 B:ほぼ達成した 60～80% C:あまり達成できなかった40～60% D:達成できなかった40%以下)

観点(重点目標)	評価項目(学校園・教師の取組内容)【別紙参照】 ○評価指標及び目標値(期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策
(1) 確かな学力と学びの保障	◇各学年の発達段階に応じた学習規律を定着させ、学習形態や、個に応じた指導方法を工夫し、基礎基本の定着に努めている。(複数指導・さこの日の補充学習・朝学習の活用) ○児童が、読み書き計算などの基礎的基本的な学習について8割以上の習得ができていいる。(児ア・保ア)→(評価テスト等)	職員アンケート 児童・保護者アンケート	A	・朝学習の時間に基礎的な学習の積み重ねを行い、学力の向上をはかる。 ・ICT端末を活用し、自分の意見を他者に発信することで、友達のことを取り入れながら、自分の考えを持つことができるようにする。 ・坂越地区での体験活動を取り入れ(漁業体験・自然観察・給食センター見学)、実体験をともなった学習を行っていく。
	◇児童一人一人が自分の考えをもち、友達との対話を通して学び合う中で、考えをさらに深められるような授業づくりに努めている。 ○児童が自分の考えをもち、対話により考えを深めている。	職員・児童アンケート		
	◇個別最適な学びと協働的な学びを実現するツールとしてのICT活用を推進し、指導と評価の一体化を図り授業改善につなげている。 ○タブレット端末等のICT機器を、児童の学習内容理解や友達との考えの比較等に適切に役立て、次の授業改善につなげている。	職員アンケート 職員研修		
(2) 人権を大切にす学校づくり	◇人権が尊重される仲間づくり、学び合いのある授業づくりに努めている。 ○児童が、間違いや失敗に対して否定的な反応をせず、自然に対話し、援助し答えている。	職員アンケート 児童アンケート	B	・対話を中心とした学習を道徳や他の教科で行っていくことで、相手を尊重しながら学習が進められるようにする。 ・スマイル班活動の時間を確保し、異学年での交流を行い、縦のつながりをもてるようにする。 ・人権教育研究大会に向けて2年間研究を積み重ねた。今後も継続し、人権教育を推進していく。
	◇人権が尊重される仲間づくり、学び合いのある授業づくりに努めている。 ○児童が進んで挨拶をし、委員会活動やスマイル班活動等では学年を越えて友達を大切にしている。 ◇日々の教育活動やたんぼほ学級の計画・実施等を通して様々な人権問題に関心をもてるように努めている。 ○日々の教育活動の中で、人権に視点を置いた促しや注意喚起、また児童が様々な人権問題に関心をもち、学ぶことができるよう、教職員の共通理解が図られている。	職員・保護者アンケート 職員アンケート 職員研修		
	◇児童の内面に根ざした道徳性を養うために道徳の教材や授業づくりの研究に努めている。 ○児童が進んで挨拶をし、委員会活動やスマイル班活動等では学年を越えて友達を大切にしている。	職員アンケート 児童アンケート		
(3) 心の教育の充実	◇生活指導の中で、禁止ではなく励行をうながし、児童の自己指導能力を高めている。 ○生活指導委員会を中心とした取組の中で、児童の自己指導能力を育成し、児童による学校生活のルールづくりをすることで気持ち良く学校生活が過ごせている。	職員アンケート 児童・保護者アンケート	B	・あすなる参観日で道徳の授業を行うことで、児童と保護者が共通の課題について考え、意見を交流できる機会とする。 ・いじめ不登校対策委員会を適切に運営し、いじめの未然防止につとめる。また、積極的にいじめを認知し、早期発見、早期解決を行っていく。 ・生活指導委員会を通して、児童の情報を職員間で共有していくと共に、生徒指導の力を伸ばしていく。
	◇いじめのない安心できる学校生活の推進に努めている。 ○いじめ・不登校の早期発見や早期対応のために、職員間で課題を共通し、必要に応じて外部機関とも連携し、すべての児童の心の居場所を保障している。	職員アンケート 児童・保護者アンケート		
	◇個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成し、支援を要する児童や保護者への理解や寄り添いに努め、周囲への啓発と共通理解を図っている。 ○合理的配慮の観点で踏まえた指導と周囲の温かい協力により、支援を必要とする児童が設定した目標に向かって生き生きと学校生活を送れている。	職員アンケート 懇談及び面談の振り返り		
(4) 特別支援教育の充実	◇すべての児童が集中して、学習に取り組むことのできる環境づくりや、視覚的に分かりやすい支援を心がけている。 ○日々の授業や生活の中で、掲示物の精選を行い、必要な情報の視覚支援などを取り入れて、授業のユニバーサルデザイン化を図っている。	職員アンケート 職員研修	A	・特別な支援を要する児童の情報を職員間で共有し、学校全体で関われるようにする。 ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとも連携し、専門的な知見を取り入れながら、適切な支援を行えるようにする。

総合的な学校関係者評価

・基礎学力の向上と体験学習の充実。対話による人間関係の充実。タブレットなどICT端末の活用。個人情報と学校情報公開。子供と向き合う時間の増加とワークライフバランス。今後も、様々な事象への対応について考え、相互理解し、協力関係の形成をお願いしたい。
・「勉強が理解できる」「運動も行う」「思いやりある子に」「心身ともに安心、安全に過ごす」などなど、成長していく子供たちの育成には、こんなに多面的な視点を持たなければならないのだと思った。親としては子供が楽しく学校生活を過ごしていることが何より。先生を始め、関係者の方の意図や思いが生徒や保護者にも正しく伝わっていきまよう、私も考えていかなければと思う。
・最高学年の6年生を中心に運動会、コンサートなどの主な行事を通して、成長する姿を見ることができて大変にありがたいと思う。人権教育研究大会を軸に日常生活における子供同士の関わりが深まったことと思う。特別支援教育についての保護者の理解が少しずつ進んでいるように思う。対応の教職員の日頃の努力が払われているからだと思う。
・坂越小学校は自然環境(海・山・川)に恵まれ、様々な学習体験が児童の喜びと励みの機会となり、探究心や地域の愛着を深められているように思う。個別支援の必要な児童が増加し、ワークライフバランスなど時間の適正化により、校務の工夫が必要とされる。今、先生方の努力が実りますことを祈っている。
・近年の社会情勢から児童、保護者との信頼関係をより一層築いていく事は重要かと思う。やりにくい時代背景の中で、まずは指導側の先生方の笑顔が一番。
・重点目標に向かって計画的に様々な教育活動を進めていただき感謝。楽しく学校に来て思いやりの心を育てることが一番ですので、その評価が高いことがよかったです。厳しくというよりあたたかく指導するという雰囲気伝わってき、親も子ども安心。

学校関係者評価

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない × 適切でない

自己評価は適切か	改善方法は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	○	自分の意見を他者に発信するツールにICT端末を活用するのが少し疑問に思ったが、他の事は大変素晴らしく、来年でも引き続きお願いしたい。 「学ぶことは楽しい」の工夫がたくさんあると良い。
○	◎	人権とは。子供たちにとって身近なところからでも考え、想像力を高めていく。 場所(地域)によっては、近くに同学年の子がいないところもあるので、スマイル班活動の時間の充実をお願いしたい。
○	○	学校に来ていない児童を含め、日々学校や家庭で辛いことがないかとか、ゆっくり話を聞いてもらうこと居場所づくりが必要。 いじめに関しては、保護者とも解決に向け動いていけるような体制にしていきたい。
◎	◎	複数の教師で丁寧な支援で関わられているのをうかがうので、続けていただきたい

(5) キャリア教育の充実	<p>◇「地域の本物」に出会い生き方を学ぶ体験、係や委員会、縦割り活動等で自分の役割を果たす体験等、キャリアを見据えた体験活動の充実を図っている。</p> <p>○人との出会いや、自分の役割を果たすことによって得た喜び等を、自分の目標や将来の夢の実現に生かすことができる。</p>	職員アンケート 保護者アンケート	B	<p>・坂越地区の地域資源を学習に活用することで、自分が生活する地域やそこで働く人々について知り、自分のキャリアを考える土台とする。</p> <p>・行事ごとにキャリアパスポートを作成し、行事を通しての成長を実感できるようにする。</p> <p>・毎時間の授業で振り返りを行い、学習を自己で省みる習慣をつけ、自分の活動を多角的にみられるような意識をもたせる。</p>	○	○	<p>キャリアパスポートの取り組みは、自己肯定感を高めたいと思うので続けて欲しい。</p> <p>体験はキャリア教育には必ず必要なので、引き続き充実をお願いしたい。</p>
	<p>◇「地域の本物」に出会い生き方を学ぶ体験、係や委員会、縦割り活動等で自分の役割を果たす体験等、キャリアを見据えた体験活動の充実を図っている。</p> <p>○各学期のはじめと終わりや行事の前後に目標と振り返りの場を設定し、キャリア形成を図っている。</p>	職員アンケート 保護者アンケート					
(6) 家庭との連携	<p>◇児童の学習や読書の習慣、「早寝・早起き・朝ごはん運動」や健康管理、挨拶の励行などの基本的生活習慣の定着を目指し、家庭と連携して、教育活動を行っている。</p> <p>○保健や食育だより、学習や読書、挨拶習慣をつけるための情報発信、講演会への招待等により家庭の意識を高め、よりよい生活習慣の定着が図られている。</p>	職員アンケート 児童・保護者アンケート	B	<p>・各種お便り等(学年通信・校長だより・保健だより)を通して、保護者に学校での様子を伝えていく。</p> <p>・デジタルでお便りを配布し、保護者がスマホで手軽にお便りを読むことができる仕組み(テトル)を活用していく。</p>	○	○	<p>アプリにより、早く手軽に保護者が確認できるようになったが、それらを子供と共有するよう親が気をつけてないといけない。</p> <p>デジタル配信が進み、より気軽に、より詳しく学校の様子を知ることができていると感じる(カラーで特に)。今後も続けていきたい。</p>
	<p>◇連絡帳や通信、メールシステムなどを通じて、児童の課題も善行も共有し、家庭と連携して教育活動を行っている</p> <p>○学校の様子や児童の様子を保護者に的確に伝えることで、家庭の協力を得て、児童がよりよい学校生活を送ることができる。</p>	職員アンケート 児童・保護者アンケート					
(7) 健康と安全を守る 取組の充実	<p>◇毎月の生活目標をもとに、新しい生活様式を踏まえ、安全に留意しながら生活指導を行っている。</p> <p>○児童が毎月の生活目標を意識して、学校生活を送り、終わりの会や月末の振り返りの際に8割以上の達成率を実感することができる。</p>	職員アンケート 保護者アンケート	A	<p>・養護教諭を中心として、健康に関する指導を年間通して行っていく。</p> <p>・校内での事故やケガの防止のため、校舎内や運動場、遊具等の安全点検を引き続き丁寧に行っていく。</p> <p>・栄養教諭が給食に関する掲示を行い、食についての学習を深めていく。</p>	○	○	<p>猛暑による運動制限があるので、夏休み中の家庭でも実行できそうな何か提案いただけたらありがたい。</p> <p>団体で行える体育(野球やサッカーなど)の充実をお願いしたい。</p> <p>体づくりについては縄跳び板やソフトバレーボールの導入など、自然と運動ができる仕組みをつくっていただいた。今後もフラフープや大縄など、自然と体づくりができるためのアイテムを増やしていただきたい。</p>
	<p>◇児童の体力向上のため、体育や学校行事、特別活動や学級の全員遊び等、工夫して教育活動を行っている。</p> <p>○児童が体力の向上を目指して、マラソンやなわとび、器械運動の練習を進んで行ったり、休み時間に元気いっぱい外で遊んだりしている。</p>	職員アンケート 児童・保護者アンケート					
	<p>◇施設設備の整備や安全点検や危険箇所の営繕補強、学校から保護者への緊急時に向けた未然対応に努めている。</p> <p>○学校安全計画に基づいて、施設設備の整備や危険箇所の営繕補強がされていて、危機管理マニュアルの作成・周知、連絡体制の整備ができています。</p>	職員アンケート 保護者アンケート					
(8) 信頼される開かれた 学校づくり	<p>◇学校だよりや学校HP、参観日オープンスクール等を通じ地域への情報発信に努めている。</p> <p>○学校の教育活動が保護者や地域に広く紹介されている。</p>	職員アンケート 保護者アンケート	B	<p>・生活科や総合学習で坂越の地域について学び、児童と地域の接点をつくる。</p> <p>・学校だよりや学校ホームページ等で学校の教育活動を広く知ってもらえるように取り組んでいく。</p>	◎	◎	<p>誠実に対応してくださっているおかげで、地域や保護者からの信頼が厚い。</p> <p>教科書との関連性もあると思うが、地域学習をいろんな形で各学年行っていたらと思う。</p>
	<p>◇地域の自然、文化、歴史、人、もの、ことと関わる体験や学びを大切に、地と連携し、教育活動を行っている。</p> <p>○生活科や総合学習の中で、地域について知る学習や郷土のよさを生かした体験活動及びゲストティーチャーによる指導により、ふるさと意識の醸成が行われている。</p>	職員アンケート					
	<p>◇学校運営協議会制度(コミュニティスクール)や地域の協力を得ながら学校運営が行われている。</p> <p>○生活科や総合学習の中で、地域について知る学習や郷土のよさを生かした体験活動及びゲストティーチャーによる指導により、ふるさと意識の醸成が行われている。</p>	職員アンケート 職員研修					
(9) 組織としての学校運営	<p>◇学校教育目標の具現化をめざし、必要な報告・連絡・相談を適切に行い他の職員と協働して組織的に教育活動を行っている。</p> <p>○職員集会や会議の場で、各状況を報告し合い、職員が指示事項を共通理解し、全教職員で全児童に関わる体制づくりがなされている。</p>	職員アンケート 保護者アンケート	A	<p>・適宜、職員研修を行っていくことで、学校全体として教師の資質向上に努める。</p> <p>・職員会議や職員集会で各取り組みについての内容を把握し、同一歩調で学校運営に関わるようにする。</p>	◎	◎	<p>学校からも適切に研修や活動は行われていると感じた。</p> <p>先生同士の連携がとても大切だと思う。</p>
	<p>◇児童の学びに寄り添う授業研究や教職員の資質向上や専門性を高めるための研修を行っている。</p> <p>○学級公開週間や校内の研修の機会を利用して、系統性のある授業づくりや学習規律の定着に生かしている。</p>	職員アンケート 児童・保護者アンケート					
(10) 子どもと向き合う 時間の確保	<p>◇校務の精選、定時退勤日の励行による勤務時間の適正化や教育課程の工夫などによって、児童に向き合える時間を確保するよう努めている。</p> <p>○定時退勤日の完全実施により、ワークライフバランスを心がけ心身のケアに努めている。</p>	職員アンケート	B	<p>・今後とも子供と向き合う時間を確保するため、時間を捻出できるよう、時程や各取り組みの内容を精選し、改善をしていく。</p> <p>・教職員の心身の健康を保つため、何でも言い合えある風通しのよい職場風土を作るようにする。</p>	○	○	<p>先生方は大変なお苦勞がおりと思いますので、心身のケアも大事にしていきたい。笑顔で日々向き合っていたらありがたい。</p> <p>縮小、拡大をどこまでするのか、今後も試行錯誤を重ねていかなければならないと思う。保護者(地域等)にも説明があると幸いである。</p>